音楽でひろがる笑顔
特定非営利活動法人OnPal

News Letter Vol.6

２０２２．１１．１　秋号

発行：福岡市中央区笹丘２丁目 22-15「特定非営利活動法人ＯｎＰａｌ」
Tel・Fax：092-761-2853　E-mail：onpal@jcom.home.ne.jp　HP: https://onpal.org/

理事長ごあいさつ

今年は、私の４月から６月までの入院生活で幕を開けました。手術とリハビリテーションを含めて約２カ月の入院です。この間は病室にパソコンやモバイルWifiを持ち込んで、ひたすら活動の日程調整や、ニュースレター春号の編集作業などを行いました。もちろん多少の不便さはあったものの、定期総会もZOOMで行うなど、インターネット社会の便利さを実感する日々でした。おかげで、退院後は早速７月１日から、特別支援学校への訪問活動を開始することができました。

ＯｎＰａｌでは、今年度は３つの補助金・助成金をいただいています。訪問活動やYouTube「おんぱるチャンネル」などは、主に「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」第４回助成のご支援を活用しています。また、武田薬品工業株式会社の寄付による「タケダ・ウエルビーイング・プログラム2022」では、市民社会創造ファンドのご支援で「インターネットを活用した音楽プラグラムの配信活動に関するアンケート調査」を実施しており、全国２５６病院の院内学級に調査票を発送したところです。また、福岡市ＮＰＯ活動推進補助金は、コロナ感染症によって困っている人を支援するための補助金枠で、来年の３月２６日に「春のこどもコンサート」を行います。

コロナ感染症の流行から３年目を迎えて、日々の感染者数は高止まりしながらも、わが国も世界に周回遅れですが日常の生活を取り戻しつつあります。しかし一方で、九州大学病院をはじめとする重い病気の入院児にとっては感染リスクへの緊張の日々が続いています。ＯｎＰａｌでも、訪問活動が可能になった病院や施設へは、音楽授業やコンサートの訪問活動を再開しましたが、訪問できない病院に対しては、「おんぱるチャンネル」への新しい作品のアップロードや、３月にスタートした音楽授業やコンサートのスタジオからの生配信に力を入れて、日常のコミュニケーションがなくなっている子ども達に笑顔を贈り続けたいと考えています。

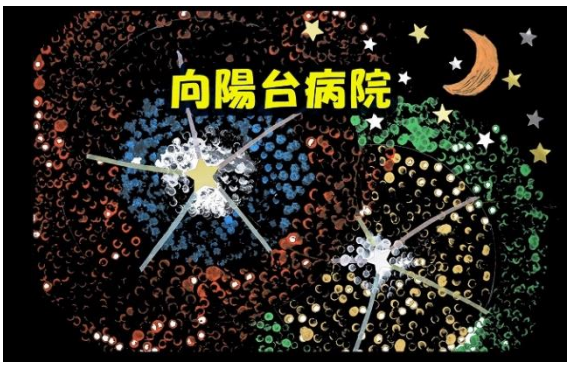
上半期の活動報告

１．おんぱるチャンネル

YouTube「おんぱるチャンネル」は、今年度の上半期に「OnPal 花火大会 2022」「オーボエ音楽授業」「フルート音楽授業」「歌の音楽授業（低学年用）」「歌の音楽授業（高学年用）」の５つの作品をアップロードしました。

「OnPal 花火大会 2022」は、今年も、元気アートプロジェクトと協力して、九州大学病院、福岡市立こども病院、のぞえの丘病院、向陽台病院の４病院の入院児に花火の絵を描いてもらい、出来上がった６１枚の個性豊かな作品を使って、花火大会の動画を制作しました。今年の花火大会は、北海道から鹿児島ま

で全国の都市や観光地の夜空に、子ども達の花火が打ち上るという趣向で、鑑賞した子ども達からは、全国を旅行した気分になったなど、これまで以上の喜びの声が届きました。感動的な作品をぜひご覧ください。現在、「ハロウィンコンサート」と「ヴァイオリン音楽授業」の撮影が終わって編集作業中です。



２．オンライン配信

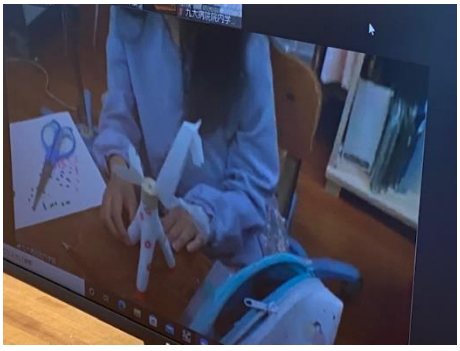
３月のチェロの音楽授業に続いて、７月１４日にマリンバの音楽授業を行いました。九州大学病院とこども病院への同時配信です。講師は、ＯｎＰａｌメンバーでマリンバ奏者の竹下さん、ピアノの安浪さんと進行役の曲尾さん。マリンバのことを楽器クイズで勉強し、リズム体験では、私たちのリズムの模範演奏に「すご～い！」と歓声が上がっていました。この日は自宅療養中の児童も参加するなど、オンライン配信ならではの効果も確認することができました。

８月２２日には、熊本の向陽台病院に向けてサマーコンサートをオンライン配信しました。この病院は、児童思春期精神科の病院です。オンラインによるコンサートは、音がずれる問題などもあってとても難しい面がありますが、事前に配送した手づくりのリズム楽器を一緒に演奏したり、紙飛行機を飛ばしたりと、画面の向こうとこちらで一緒に盛り上がることができました。

続いてのオンライン配信は、１０月６日に元気アートプロジェクトとの共同で、アート授業「みつまたアートづくり」を行いました。講師はデザイナーの松隈さんです。ＯｎＰａｌメンバーの歌手、曲尾さんに聞き手として参加してもらうことで、子ども達にわかりやすい授業を目指しました。「みつまた」は和紙の原材料になる日本古来の樹木です。最初にこの和紙づくりや紙の歴史などを教えて、今日の材料が「みつまた」という木の皮を剥いだ残りであることを理解してもらった上で作品づくりに挑戦してもらいました。初めてのオンラインアート授業で心配でしたが、子ども達は久々のアート作品づくりに大喜びで、子どもらしい感性の作品を次々に生み出してくれました。次は１１月のまつぼっくりクリスマスツリーづくりです。

マリンバ音楽授業
スタジオ演奏の様子

向陽台病院サマーコンサート
スタジオ演奏の様子



みつまたアート授業
画面向こうの制作の様子

３．訪問活動

今年度最初の活動は、７月１日(金)に南福岡特別支援学校を訪問して、サマーコンサートを行いました。なんと２年半ぶりの訪問活動再開です。特別支援学校に通う５，６年生を対象に、サマーキャンプ行事の特別イベントとして参加したものです。２６名の障がい児たちのために、色々と大変な準備をしましたが、特に松隈さんが製作した「鈴の森」はとても大きな舞台セットで、子ども達がその中をくぐると鈴がなるという仕掛けがあります。子ども達は次々に大喜びでくぐってチリンチリンという音を楽しんでいました。また、チェロやピアノの周りにも子ども達が集まってきて、音楽への関心の高さが窺えました。素敵な音楽は子ども達にとって、この夏のとても楽しい思い出になったことでしょう。

７月９日は、久留米ののぞえの丘病院を訪問してサマーコンサートを行いました。この病院は向陽台病院と同じ児童思春期精神科の病院です。近年、児童虐待など様々な問題から、こどもの精神疾患が増えています。私たちの届ける音楽で、少しでも心を明るくしてもらえれば嬉しいのですが。当日は、夏の歌、ディズニーの曲などを沢山のスライドを上映しながら演奏しました。「３６５日の紙飛行機」では一緒に紙飛行機を折って飛ばしたり、「風になりたい」ではみんなに楽器を配ってサンバのリズムを一緒に演奏したりと、子ども達も参加するとても楽しいコンサートになりました。あまりの盛り上がりように、病院スタッフは少しコロナのことが心配だったようです。

鈴の森に大喜びの子ども達

チェロの振動を手で感じてびっくり

サンバのリズムをみんなで演奏

トピックス

１．今津カフェ「ピアノ開きコンサート」を開催

ＯｎＰａｌでは、福岡市西区にある今津運動公園にグランドピアノを寄贈しました。この公園を管理している知人から地域交流の場として昨年７月にオープンした「今津カフェ」でコンサートをしたいとの相談を受けたのがきっかけです。コンサートをしたいならピアノを置いてほしいと言っていたところ、今春になって、購入は出来るができれば寄付してくれる人はいませんかと相談されました。ピアノを寄付しても良いと言う人はきっとおられますが、古くてメンテナンスもされていないピアノだと修理に相当な費用が発生したり、そもそも使い物にならなかったりします。そこで、旧知のピアノ工房に相談したところ、たまたま、製造から５５年経つグランドピアノだが十数年前にフルメンテナンスしたものを安く手放す方がおられるという耳よりの話。破格の値段でお譲りいただき寄贈することができました。

みなさんは、なぜＯｎＰａｌが寄贈？と不思議に思われるでしょう。実は、この地区は通称「今津福祉村」といって、今津特別支援学校をはじめ、多くの福祉施設が集まっており、私は、以前からこの地区で活動をしたいと思っていました。そこで、その活動の拠点にもなると思って寄贈を決めました。

８月２８日には、ＯｎＰａｌメンバーによる「今津カフェピアノ開きコンサート」を開催。地域のみなさんや今津特別支援学校の子どもも数人参加して、歌やフルートの演奏を楽しんでいただきました。

このピアノは、ストリートピアノとしてどなたでも弾いてもらえます。街中ピアノは多くの人が見ているので恥ずかしいという人も、公園ならばと、結構遠くからも弾きに来られているそうです。

これから、運動公園のカフェのピアノがたくさんの笑顔を生み出すよう願っています

２．オンライン配信スタジオが完成

９月末、オンライン配信用のスタジオが完成しました。元気アートプロジェクトの活動拠点になっている松隈さんの設計事務所で有線ＬＡＮの配線工事を行い、配信用の機材をセットしたものです。

モニターやミキサーなどの様々な配信機材は、タケダ・ウエルビーイング・プログラム 2022 の助成金を活用して購入したもので、１０月６日の「みつまたアートづくり」が最初の配信になりました。

３．キワニス公益賞をいただきました

「世界の子ども達に奉仕しよう」をスローガンとする、福岡キワニスクラブから「キワニス社会公益賞」をいただきました。長年行ってきた病気の子ども達を元気づける活動を評価していただいたもので、会員にとって大きな励みになりました。期待を裏切らないよう活動を続けていきたいと思います。

４．インターネットを活用した音楽プラグラムの配信活動に関するアンケート調査

タケダ・ウエルビーイング・プログラム 2022 の助成を受けて、全国の病院に設置されている院内学級を対象にアンケート調査を実施中です。これは、コロナ禍でスタートした YouTube による音楽プログラムのインターネット配信やオンライン授業・コンサートの内容の充実と、これらの事業のＰＲ・周知を目的とするものです。ＯｎＰａｌの訪問活動は近隣県に限られていますが、この調査を通じて、全国の病院に向けたインターネットによる音楽プログラム配信を計画しています。

ＯｎＰａｌからのお願い

OnPalの活動を支援していただく方を募集しています。支援の方法は、賛助会員への入会、色々なコンサート・派遣演奏の依頼、「おんぱるチャンネル」で紹介している「うんちはかせ」などの演奏依頼など様々です。

ご支援いただいた資金は、音楽家への謝金や組織の運営費として使わせていただきます。病気の子どもたちに笑顔を届ける活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、私たちと一緒に活動していただくボランティアの音楽家・スタッフも募集しています。表紙の連絡先にお問い合わせください。

おんぱるチャンネル　検索

いいね！と思われたらチャンネル登録をお願いします。

賛助会員企業

トヨタカローラ博多
若尾建設株式会社
一般財団法人九州電気保安協会
三栄印刷株式会社 SANEI PRINTING Co.,Ltd.
株式会社にしけい
FUTURE APPLICATION
上内電気株式会社 Kamiuchi Electric
木下緑化建設株式会社
株式会社大建
株式会社別府梢風園
社会福祉法人輔仁会
株式会社エコーテック
九州グラウンド株式会社
Tomas Total Machinery System
株式会社甲斐建設
医療法人横田会 向陽台病院
MIYAGAWA 宮川建設株式会社